

本書『情報配線施工標準テキスト』（初版）の内容に次のような誤りがありました。
下記の通り訂正してお詫び申し上げます。 [2006/9/5 更新]

場所： p.2 最終行 [2006/8/2]

誤：デジタル信号は、図 1-1 の手順でアナログ信号に変換される。

正：アナログ信号は、図 1-1 の手順でデジタル信号に変換される。

場所： p.3 下から 3 行目 [2006/8/2]

誤：「0」「1」の信号がない間は～

正：ビット「0」「1」の信号がない間は～

場所： p.12 「■トポロジ」の 2 行目 [2006/8/2]

誤：ネットワークの構成要素は、端末、伝送路（リンク）、ノード（接続器）～

正：ネットワークの構成要素は、端末装置、伝送路（リンク）、ノード（接続装置）～

場所： p.15 下から 3 行目 [2006/8/2]

誤：CSMA/CA（キャリア・センス・マルチプル・アクセス/コリジョン・アボイド）

正：CSMA/CA（Carrier Sense Multiple Access with Collision Avoidance）

場所： p.22 表 1-4 ギガビットイーサネットの名称欄 [2006/8/2]

訂正内容：1000BASE-T の下に「1000BASE-TX」を追加します。

場所： p.23 「10BASE-2」部分の見出しと 1 行目 [2006/8/2]

誤：

10BASE-2

同軸ケーブルを使用する～

正：

10BASE-FL

光ケーブルを使用する～

場所： p.41 下から 3 行目 [2006/8/2]

誤：機器（クラス 2）間是最長 100m～

正：100BASE-TX では、機器（クラス 2）間是最長 100m～

場所： p. 56 表中「通信速度例」1行目 [2006/8/2]

誤：上り 1Mbps

正：上り 約 1Mbps

場所： p. 68 「■導体伝送路の特徴」3行目 [2006/8/2]

誤：信号は胴体を、

正：信号は導体を、

場所： p. 73 図 3-7 [2006/8/2]

訂正内容：下記の図にさしかえます。

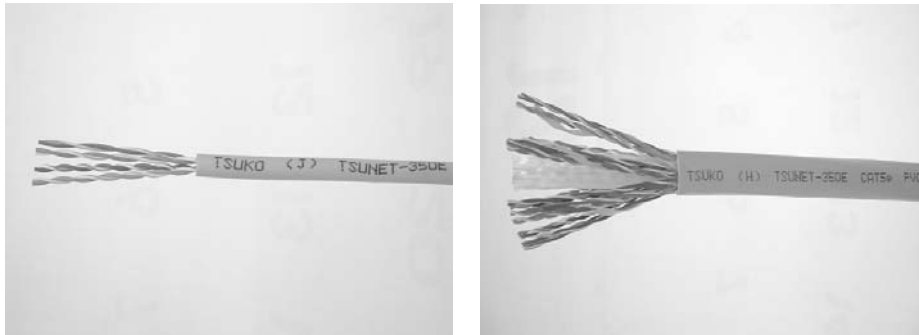


図 3-7 ツイストペアケーブル（通信興業）：4対ケーブル（左）と24対ケーブル（右）

場所： p. 74 上部の図中 [2006/8/2]

誤：D : 75Ω

正：D : 50Ω

場所： p. 82 見出し [2006/8/2]

誤：■S-FTPケーブル（Shielded-Foiled Twisted Pair cable）

正：■S/FTPケーブル（Shielded-Foiled Twisted Pair cable）

場所： p. 89 「4.1.2 パッチパネル」3～4行目 [2006/8/2]

誤：～ブロック型（パッチダウブロック）～

正：～ブロック型（パンチダウブロック）～

場所： p. 91 箇条書き2項目の説明文（上から5行目） [2006/8/2]

誤：最大48ポートを提供できる。高さmm（1.75インチ）である。

正：最大48ポートを提供できる。高さ89mm（3.5インチ）である。

場所： p. 91 下部囲み部分 [2006/8/2]

誤：TIA/EIA-570 で規定された～

正：TIA/EIA-568 で規定された～

場所： p. 92 図 4-4 [2006/8/2]

訂正内容：図中のキャプションを下記の通りに訂正いたします。



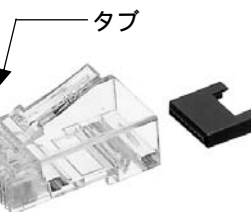
(a) ジャック (R&M)



(b) ジャック (バンドウイット)



(c) ぐっとす (松下電工)



(d) プラグ

場所： p. 100 下から 2 行目 [2006/8/2]

誤：～自己消化性～

正：～自己消**火**性～

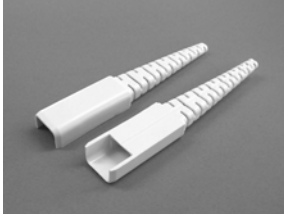
場所： p. 101 本文 1 行目および図 4-15 [2006/8/2]

誤：自己消化性／非自己消化性

正：自己消**火**性／非自己消**火**性

場所： p. 107 図 4-23 [2006/9/5]

訂正内容：下記「(j) フレキエンド」を図の最後に追加いたします。



場所： p. 128 表 5-2 項目「ISO/IEC 11801:Ed. 2. 2002」の部材カテゴリ [2006/8/2]

誤：Cat 5e, 6, 7

正：Cat 5, 6, 7

場所： p. 130 下部箇条書き下から 3 行目 [2006/8/2]

誤：フロア配線盤

正：フロア配線盤 (FD)

場所： p. 131 上部箇条書きの下の注 [2006/8/2]

誤：水平配線盤 (HD)

正：フロア配線盤 (FD)

場所： p. 133 図 5-4 [2006/8/2]

誤：90m

正：最大 90m

場所： p. 136 「■幹線配線システム」部分の下から 2～3 行目 [2006/8/2]

誤：～アプリケーションを想定ケーブル数を計算し、～

正：～アプリケーションを想定しながらケーブル数を計算し、～

場所： p. 136 「■認定ケーブル」1 行目 [2006/8/2]

誤：水平配線システム

正：幹線配線システム

場所： p. 137 下から 3、4 行目 [2006/8/2]

誤：8 ポジションモジュラ

正：8 極モジュラ

場所： p. 138 図 5-7 のキャプション [2006/8/2]

誤：8 ポジションジャックピン

正：8 極ジャックピン

場所： p. 138 「■光ファイバ通信アウトレット／コネクタ」4 行目 [2006/8/2]

誤：～2 対コネクタの使用が望ましい。

正：～2 心コネクタの使用が望ましい。

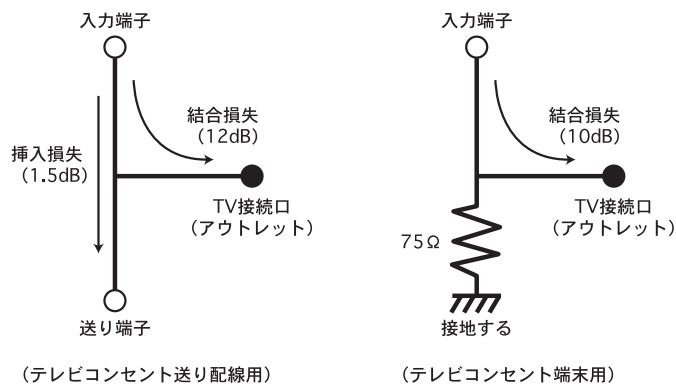
場所： p. 143 下から 2 行目 [2006/8/2]

誤：～物理的なスタートポロジ

正：～物理的にスタートポロジ

場所： p. 147 図 6-3 [2006/8/2]

訂正内容：下記の図に訂正いたします。



場所： p. 148 図 6-4 内の下部囲み [2006/8/2]

誤：必要テレビ端子レベル

VHF: 62dB μ V 以上

UHF: 69dB μ V 以上

BS: 54dB μ V 以上

正：必要テレビ端子レベル

VHF: 60dB μ V 以上

UHF: 54dB μ V 以上 **デジタル**

BS: 54dB μ V 以上

場所： p. 149 テレビターミナル出力レベル [2006/8/2]

誤：②：ブースタ入力アテネータ

正：②：ブースタ入力ア**ッ**テネータ

場所： p. 152 表 6-3 見出し [2006/8/2]

誤：シングルモードル

正：シングルモード

場所： p. 153 図 6-5 の上下矢印部分 [2006/8/2]

誤：上の矢印：たとえば、ADSL 契約すると、見苦しい「露出回線」に

下の矢印：新築時にハブからの LAN 回線を施しておけば…

正：上の矢印：たとえば、ADSL 契約すると、見苦しい「露出配線」に

下の矢印：新築時にハブからの LAN 配線を施しておけば…

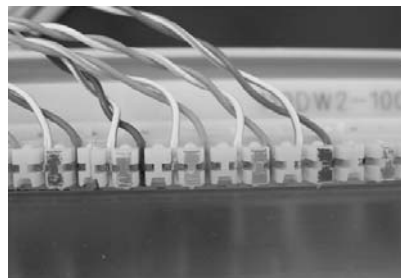
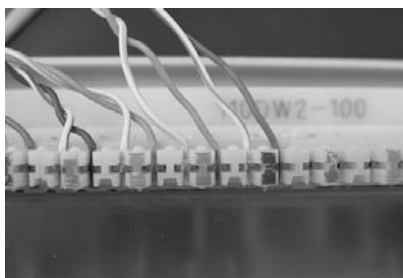
場所： p. 167 箇条書き 1 項目 [2006/8/2]

誤：ピン割り当て

正：8 極ジャックピン／ペア割り当て

場所： p. 167 図 7-2 [2006/8/2]

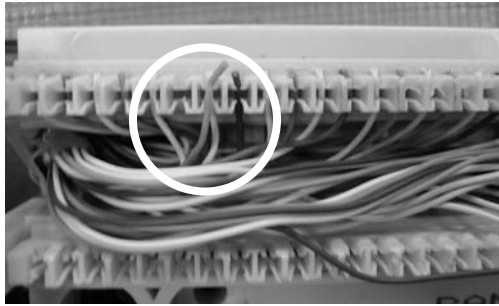
訂正内容：下記の図とキャプションに訂正いたします。



(a) より戻し長：より戻し長大（左）と適正長（右）



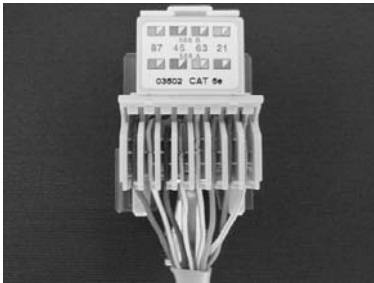
(b) インパクト：インパクト不足(左)と適正(右)



(a) 心線の切断長大

場所： p. 168 図 7-3 [2006/8/2]

訂正内容：下記の図に訂正いたします。



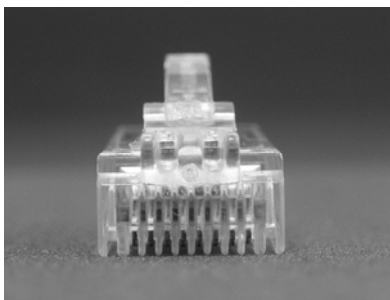
(a) 悪い例



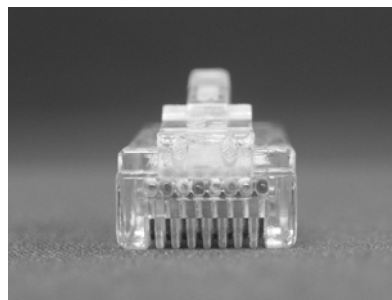
(b) よい例

場所： p. 168 図 7-5 [2006/9/5]

訂正内容：下記の図に訂正いたします。



(a) 悪い例



(b) よい例

場所： p. 169 「■ピン割り当て」部分3カ所（見出し／1行目／図7-6 キャプション）
[2006/8/2]

誤：ピン割り当て

正：ピン/ペア割り当て

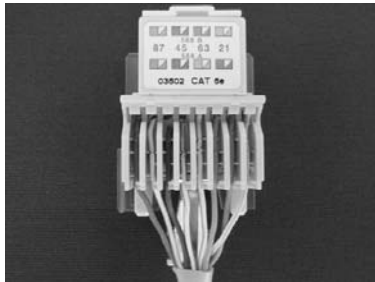
場所： p. 169 図 7-6 の下 1 行目 [2006/8/2]

誤：ピン基本的配置を～

正：ピン/ペア割り当ての基本的配置を～

場所： p. 170 図 7-7 [2006/8/2]

訂正内容：下記の図に訂正いたします。



場所： p. 173 「■ケーブルの引張り（配線）」の下 4～6 行目 [2006/8/2]

誤：ドラムに巻かれたケーブルの引き出しの際には、ケーブルをドラムの上部から引くのではなく、下部から引くようにすること。

正：木製ドラム（大きなドラム）等では、ケーブルはドラムの上部から引き出すこと。下からだと張力がゆるんだときに、ケーブルが地面を引きずってしまうことになるためである。

場所： p. 181 「温度環境による特性変化」の 2 行目 [2006/8/2]

誤：また、導体温度が高くなると減衰量が高くなり、～

正：また、導体温度が高くなると減衰量が大きくなり、～

場所： p. 185 図 7-31 図中キャプション [2006/8/2]

誤：固定棚がある場合は、ケーブルをケーブル固定バンド等でケーブル固定欄にしっかり留めること。C

正：固定棚がある場合は、ケーブルをケーブル固定バンド等でケーブル固定棚にしっかり留めること。

場所： p. 199 箇条書き 2 項目 [2006/8/2]

誤：ラグ加工や～

正：プラグ加工や～

場所： p. 213 図 8-2 キャプション [2006/8/2]

誤：図 8-2 OTDR

正：図 8-2 OTDR (アンリツ)

場所： p. 216 下部の囲み [2006/8/2]

誤：公称伝搬速度 (NVP : Nominal Propagation Velocity)

正：公称伝搬速度 (NVP : Nominal Velocity of Propagation)

場所： p. 222 上部の囲み 3 行目 [2006/8/2]

誤：漏和

正：漏話

場所： p. 223 [2006/8/2]

誤：

デシベルは次式で定義される。

P1 : 出力パワー、P2 : 入力パワー

表にデシベルとパワー比を示す。

入力パワーP1 と出力パワーP2 の関係での相対値を dB で表す。

正：

伝送効率 は次式で定義される。

P1 : 入力パワー、P2 : 出力パワー

伝送効率 (dB) = $10 \log_{10} P2/P1$

場所： p. 224 「■電力和近端漏話減衰量」 1 行目 [2006/8/2]

誤：電力和近端漏和減衰量

正：電力和近端漏話減衰量

場所： p. 224 「■等レベル遠端漏話減衰量」 1 行目 [2006/8/2]

誤：等レベル遠端漏和減衰量

正：等レベル遠端漏話減衰量

場所： p. 225 上部囲み「●遠端漏話減衰量」 1 行目 [2006/8/2]

誤：遠端漏和減衰量

正：遠端漏話減衰量

場所： p. 225 「■減衰対漏話比」1行目 [2006/8/2]

誤：減衰対漏和比

正：減衰対漏話比

場所： p. 230 表 8-5 キャプション [2006/8/2]

誤：ペアツイストケーブルの特性試験項目

正：ツイストペアケーブルの特性試験項目

場所： p. 230 表 8-5 「試験項目」欄 [2006/8/2]

誤：

4項目： 伝播遅延／遅延時間差

6項目： ELFET

正：

4項目： 伝搬遅延／遅延時間差

6項目： FLFEXT

場所： p. 230 表 8-5 NEXT の「推奨障害対応」欄 [2006/8/2]

誤：正しい試験構成が使用されているか

正：正しい試験系が使用されているか

場所： p. 231 最終行 [2006/8/2]

誤：DNS サーバにリクセストを送り情報を得るコマンド

正：DNS サーバにリクエストを送り情報を得るコマンド

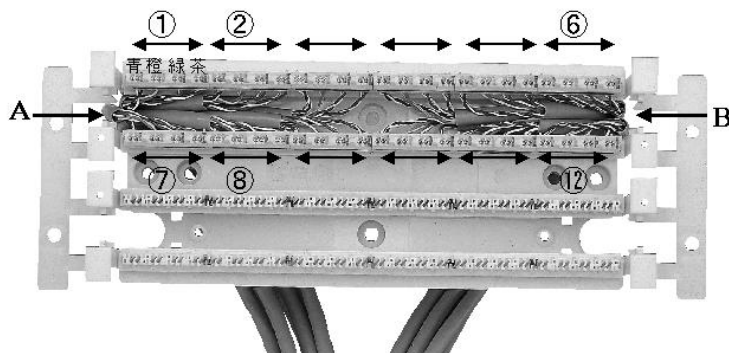
場所： p. 245 「無線 LAN アダプタの準備」2～3行目 [2006/8/2]

誤：また、最新のドライバものは、～

正：また、最新のドライバは、～

場所： p. 287 下部の図 [2006/8/2]

訂正内容：下記の図の通り訂正いたします。



場所： p. 300 参考文献および関連資料 [2006/8/2]

訂正内容：下記を追加いたします。

・松下電工株式会社配線器具事業部、“マルチメディア対応配線システム技術資料”、2005

場所： p. 302 「《POINT》より戻し制限」 [2006/8/2]

訂正内容：下記を削除いたします。

Cat. 3 : 25mm 以下

場所： p. 304 奥付 [2006/8/2]

訂正内容：協力欄に下記を追加いたします。

アンリツ株式会社